

令和4年度 事業報告書

令和元年度に策定した杉並区シルバー人材センター（以下「センター」という。）中期計画” れいわライジングプラン” は、運用初年度から見舞われた新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）により、社会を取り巻く状況が大きく変化した中で、ほとんどの計画が実行できないまま昨年度において、新たな区民生活環境におけるセンターの果たす役割を考察しながら、令和6年度までの3年間の事業運営方針となる中期計画” 第二次 れいわライジングプラン”（以下「第二次中期計画」という。）として改訂し、今年度から運用を開始しました。

令和4年度においては、第二次中期計画における4つの基本方針に則り、活動の中心世代の会員の増強と就業率の向上を掲げ、就業以外の地域活動においても地区地域班組織の再編を行い、地域班長を「地区委員」として地域の中での役割を明確にするとともに、センターの魅力発信の一翼を担ってもらえるような活動形態を推進してきました。また、事務局の効率的な事業運営を図るために、荻窪と清水の二カ所にあった分室を統合し、分室機能を向上するとともに、本部と分室との役割分担を明確にすることで、会員や仕事の発注者である区民等に分かりやすい事務局組織へ転換しました。

1 事業実績

年度/項目	登録会員数 (人)		対前年比 (人)	区民人口 (人)		対区民人口比
令和4年度 (5年3月末)	総数 (目標値)	2,701 (2,800)	14 ▲	60～90歳	142,392	1.897 %
	65～79歳 (目標値)	1,991 (2,100)	8 ▲	65～79歳	76,839	2.591 %
令和3年度 (4年3月末)	総数	2,687	57 ▲	60～90歳	141,576	1.898 %
	65～79歳	1,983	20 ▼	65～79歳	77,441	2.560 %

センターの活動基盤を担う会員登録状況は、コロナによる減少傾向には一定の歯止めがかかりましたが、国が推奨する定年延長問題やセンターへの入会動機が経済的理由による場合には、センターの就業形態がふさわしくないことを理由に説明会に参加しても入会を見合わせる者が多くなっており、目標とする会員数に達することはできませんでした。

表1-会員入退会状況 (単位:人)

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計	
入会	男	22	20	16	31	13	19	19	3	11	7	23	21	205
	女	22	11	10	16	9	17	13	9	12	7	12	17	155
	計	44	31	26	47	22	36	32	12	23	14	35	38	360
退会	男	43	75	10	2	1	3	6	9	8	5	8	22	192
	女	41	47	16	7	3	1	5	3	1	3	6	21	154
	計	84	122	26	9	4	4	11	12	9	8	14	43	346
差引増減	-40	-91	0	38	18	32	21	0	14	6	21	-5	14	
前年度	入会	40	30	30	24	20	29	24	46	32	24	52	51	402
	退会	167	38	22	12	8	9	8	15	10	15	9	32	345
	増減	-127	-8	8	12	12	20	16	31	22	9	43	11	57

退会理由の主なものは、表2のとおり、病気・加齢など高齢者特有のものと、定款に規定する会員の資格喪失理由となる1年以上会費を滞納していることによるもので、これらの理由によるものが令和4年度中の退会者数の67.6%を占めています。センターの事業運営に関わる「希望する仕事がない」「就業機会なし」による退会は、41名いましたが、昨年度より8名増加しているため、これらを理由に退会する会員が減少することのないように、更なる就業機会の創出に努めていきます。

表2-退会理由 (単位:人)

理由	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
病 気	16	6	4	1	2		1	5	2	2	6	10	55
シルバー事業を通じて就職													0
その他で就職	11	1	3	1				1	1			2	20
死 亡	3	1	1		1	2	1	1	2	3	2	4	21
転 居	2	3	1	1		2	2	2	2	1	1	5	22
希望する仕事がない	18	1	5	2	1		1		1	2	2	4	37
就業機会なし	1	1									1	1	4
家庭の事情(介護等)	7	2	3	2			1	1				5	21
会費未納		99											99
加 齢	21	8	5	2			5	2			2	12	57
他団体への加入													0
センター運営に対する不満	2		2						1				5
未 回 答			1										1
そ の 他	3		1										4
合 計	84	122	26	9	4	4	11	12	9	8	14	43	346

(1) 受託事業

表3のとおり、請負・委任により受託事業は、約6割が津並区から委託された仕事ですが、昨年度に引き続きコロナの影響により、日曜日等の児童館施設管理は下半期からの開始で、目的外使用に係る児童館管理業務は1年間を通じて休止となりました。しかし、その他の業務の受注状況は、徐々にコロナ前に回復傾向にあり、概ね平年並みに戻ったことで、前年度決算よりも約2,300万円の増収となっています。ただし、企業や一般家庭からの仕事の受注は、未だにコロナの影響により、家事援助サービスなど他人との接触や屋内へ招き入れる業務の発注を控えたり、就業を休止したりするケースは依然として続いています。民間事業におけるマンション共用部清掃の受注は年々増加しており、今後のさらなる受注拡大が見込めるため、対応する仕組みを築いていく必要があります。

表3-請負・委任事業区分別事業収入等 (単位:円/件/人)

事業区分	配分金	材料費等	事務費	事業収入	契約件数	延日人員	
公 共	4年度	463,215,163	1,606,491	41,621,331	506,442,985	143	96,274
	3年度	450,280,152	1,665,980	40,261,691	492,207,823	119	94,918
企 業	4年度	146,150,240	699,735	14,441,355	161,291,330	552	52,681
	3年度	137,866,701	1,010,035	13,199,047	152,075,783	598	54,050
家 庭	4年度	110,616,144	5,003,946	11,224,368	126,844,458	4,926	34,152
	3年度	113,572,190	4,483,656	11,237,241	129,293,087	5,005	35,446
独 自	4年度	16,367,519	1,673,890	1,530,603	19,572,012	24	4,728
	3年度	14,651,860	1,440,265	1,590,807	17,682,935	23	4,625
合 計	4年度	736,349,066	8,984,062	68,817,657	814,150,785	5,645	187,835
	3年度	716,370,906	8,599,936	66,288,786	791,259,628	5,745	189,039

表4の労働者派遣事業についても、依然として、受注件数・金額ともに倍増傾向にあり、さらなる顧客の発掘につながる事業として、営業の取組を強化していきます。

表4－労働者派遣事業契約額等 (単位：円/件/人)

	賃金	事務手数料等		契約金額	実契約件数	延日人員
		杉並区SC	東京しごと財団			
令和4年度	26,088,872	3,804,356	3,900,483	33,793,711	81	6,159
令和3年度	15,841,137	2,331,056	2,467,009	20,639,202	64	3,443

表5－請負・委任事業職群別・公民別事業実績表 (単位：件/人/円)

職群・事業区分		受注件数	職群別登録会員数	就業延人員(実人員)	配分金	材料費等	事務費	金額計	
職群別内訳	技術	239	280	1,415	4,125,914	233,999	726,853	5,086,766	
	技能	2,024	220	7,684	49,523,589	6,085,842	4,794,745	60,404,176	
	事務整理	157	279	1,572	8,015,326	497,044	1,122,440	9,634,810	
	管理	31	685	57,156	316,105,586	1,251,446	28,427,788	345,784,820	
	折衝外交	8	65	162	1,034,360	538,800	98,166	1,671,326	
	軽作業	2,686	617	63,008	162,496,115	375,871	15,806,206	178,678,192	
	サービス	500	553	56,838	195,048,176	1,060	17,841,459	212,890,695	
	その他	0	2	0	0	0	0	0	
公民別事業内訳	公共	143		96,274	463,215,163	1,606,491	41,621,331	506,442,985	
	企業等	企業		552	52,681	146,150,240	699,735	14,441,355	161,291,330
		独自		24	4,728	16,367,519	1,673,890	1,530,603	19,572,012
	家庭	4,926		34,152	110,616,144	5,003,946	11,224,368	126,844,485	
職群別内訳計事業区分計		5,645	2,701	187,835	736,349,066	8,984,062	68,817,657	814,150,785	

(2) 就業機会提供事業

表6のとおり、会員の高齢化に比例し、就業する会員の平均年齢も高齢化しており、民間等における就業年数の延長による新規入会者の年齢も高齢化していることから、当面は、高齢化の傾向が続くものと予測されます。就業の中心世代である65歳から79歳までの入会促進とあわせて、当該世代の未就業会員が速やかに就業できるような仕組みを作り未就業会員の減少に努めていきます。

表6－年齢別会員登録・就業状況 (単位：人/歳)

区分		60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	平均年齢	最高年齢
登録会員	男	3	47	227	440	520	376	1,613	75.7	91
	女	2	52	161	325	318	230	1,088	75.1	96
	計	5	99	388	765	838	606	2,701	75.4	
就業会員	男	1	20	136	307	363	237	1,064	76.4	91
	女	0	30	101	215	212	150	708	75.7	93
	計	1	50	237	522	575	387	1,772	76.1	

就業率 (%)	対全登録会員			対65歳～79歳登録会員		
	令和4年度	令和3年度	対前年度比	令和4年度 (1,991人)	令和3年度 (1,983人)	対前年度比
	65.61	64.35	1.26 増	89.00	87.19	1.81 増

表7- 会員第一希望職群就業状況 (単位:人)

区分	技術	技能	事務整理	管理	折衝外交	軽作業	サービス	その他	合計	
登録会員	男	195	102	103	593	25	381	213	1	1,613
	女	85	118	176	92	40	236	340	1	1,088
	計	280	220	279	685	65	617	553	2	2,701
就業会員	男	15	29	1	243	1	157	102	0	548
	女	12	66	18	22	0	86	182	0	386
	計	27	95	19	265	1	243	284	0	934

※ 表6・表7の「登録会員」は令和5年3月31日現在の会員数、「就業会員」は令和4年度中に一度でも就業した会員数

① 就業機会拡大の取組

- ア) 就業開拓員2名を通年で雇用し、区内事業所に対する労働者派遣事業を含めたセンター事業の営業活動を実施し、派遣事業に係る業務の受注について大きな成果を挙げました。
- イ) 就業会員を募集している仕事を、全会員向けに毎月発行し送付している「就業のひろば」に掲載し、就業会員を募りました。
- ウ) 区民サービスに係る業務のセンターへの仕事発注について区へ要望しました。

② 適正就業推進に向けた取組

- ア) 安全適正就業指導員1名を通年で雇用し、毎月職種ごとに就業履行状況の点検等を実施し、就業の適正化に取り組みました。
- イ) 臨時的かつ短期的な就業または軽易な業務というセンター特有の仕事の形態による働き方や健康管理の面から、特定の会員が月に100時間を超えて就業することがないように、調整・指導等に努めていますが、コロナや加齢・病気等による就業休止・辞退者が出た際の後任手配までの間、一時的に協力を依頼した会員の就業など、やむを得ず長時間就業の会員が生じることとなりました。しかし、単に時間数だけの管理では、会員の健康管理面で適切な対応をとれないため、職種ごとに就業状況を勘案しながら、適正な就業時間を定め、調整を図っていきます。

月100時間 超過者数	令和4年度	令和3年度	前年度比増減
	延 105 名	延 87 名	延 18 名 増

- ウ) 受注の都度、発注者に対し「お客様満足度アンケート調査」を実施するとともに、日々の運営の際の意見・要望等と併せて、改善が必要な事案については、事務局職員と一緒に速やかに対応し、適正な就業に努めました。
- エ) 適正で安全な就業提供に向け、理事会の下に就業委員会と安全管理委員会が連携し、総合的に取り組みました。
- オ) グループ就業現場において、会員のシフト調整や新規就業会員の育成指導など、リーダー的役割を担う会員に対し、通常就業以外の業務の就業について追加晒分金を支払い、会員の就業意欲の向上を図りました。

③ 家事援助・子育て支援・高齢者福祉サービス事業の充実

- ア) 家事援助コーディネーターを通年で2名雇用し、子育て世帯や高齢者世帯の需要に迅速かつ円滑な対応に努めました。
- イ) 子育て世代のニーズ獲得のために、区内小学校全校に配布される子育て情報誌「なみすく」に家事援助・子育て支援サービスに関する仕事の案内記事を掲載しました。

④ 就業会員連絡会の実施

昨年度までコロナの影響により多くの職種で中止となっていた同一職種の就業会員同士の交流及び情報共有の機会として行っていた「就業会員打合せ会」については、コロナの感染状況等を考慮しながら、形態や内容を各職種の会員同士における課題や問題の抽出と情報交換を目的とすることに改め、名称を「就業連絡会」として実施し、各職種における今後の円滑な事業に反映できるように取り組みました。

⑤ 就業環境の整備改善

- ア) 被服貸与規程に基づき、会員がそれぞれの職種で就業に適した被服を必要に応じて貸与し、良好な環境で就業できる体制を整えました。
- イ) 夏期就業前には、会員の熱中症予防対策として、屋外で就業する会員を中心にネッククーラータオルを配布しました。

⑥ ゆうゆう館協働事業の継続実施

ゆうゆう和泉館の継続的安定的受託を目指し、利用者の満足度を随時測りながら、講座開催に際しては、十分なコロナ感染拡大防止対策を講じ、感染者を出さないように適切に取り組みました。

年度	講座数	開催回数	参加者数	講座内容
令和4年度	19 コース	149 回	1,289 名	折り紙、マジック入門 ほか
令和3年度	17 コース	169 回	1,309 名	陶芸、フラダンス、マジック ほか

⑦ 杉並子育て応援券サービス提供事業の実施

杉並子育て応援券サービス提供事業所として、家事援助・育児支援サービスを提供し、子育て世帯のニーズに的確に応えました。

子育て応援券利用実績		令和4年度	令和3年度	前年度比増減
契約件数		535 件	504 件	31 件 増
就業人員		548 人	513 人	35 人 増
事業収入	枚数	7,442 枚	6,882 枚	560 枚 増
	金額	3,721,000 円	3,441,000 円	280,000 円 増

(3) 労働者派遣事業

- ① 現在就業中の現場において定年を迎えようとする非会員が、定年前に当センターに入会することで当センターからの派遣により定年後も引き続いて当該就業現場に就業できる体制を整えました。
- ② 労働者派遣事業（以下「派遣事業」という。）への就業を希望する会員向けに説明会を開催し、派遣事業に就業できる会員の登録者を増やすことで、増加する派遣事業の需要に応えました。

派遣事業説明会	令和4年度	令和3年度	前年度比増減
開催回数	12 回	12 回	増減なし
参加者数	72 名	64 名	8 名 増

(4) 調査・研究事業

各就業現場における発注者の満足度を調査し、センター事業の改善・充実を図るため、設問内容や評価方法を変更した上で、表8のとおり「お客様満足度アンケート調査」を実施しました。

杉並区から受注する仕事に対する評価は、業務の完成度がお客様である杉並区の満足度であることから、契約時の定めにより業務ごとに実施している表9のとおり履行評価表により得られた点数を満足度としました。

表8ー お客様満足度アンケート調査

職種名	受注件数	回答数	「よい」の数				コメント		平均評価点
			問3	問6	問7	問9	加点	減点	
マンション共有部清掃	376	90	74	74	77	84	25	0	86.1
植木剪定	1,102	16	10	10	13	15	11	5	80.4
除草	1,103	69	58	64	61	68	33	3	88.6
家事援助サービス	136	66	56	62	61	65	25	1	89.8

※ 設問毎に、よい=4点、ふつう=2点、わるい=1点の計を50点で除し、100を乗じた数を基礎評価点としました。

また、8項目の評価項目の内、問3.契約から実施までの期間、問6.会員の態度や言葉づかい、問7.仕事ぶり・仕上がりに、問9.仕事の再依頼希望の有無の4項目については、センターの事業運営への影響度が高いため、2倍評価(良い=8点)とし、自由意見欄の良いコメント・悪いコメントにより2点を加減しました。

表9ー 履行評価表評価

主な履行評価対象業務	評価主管課	利用対象者	評価点	
自転車有料駐車場業務	土木管理課	一般区民	81.0	良好
通学案内交通指導等業務	学務課	通学児童・小学校40校	90.0	良好
学校施設管理業務	教育庶務課	区立小・中学校22校	86.4	良好
自転車・倉庫鍵貸出、来庁者自転車整理業務	経理課	区職員	86.0	良好
ゆうゆう和泉館運営管理業務	高齢者施策課	一般区民	110.0	優良
環境美化巡回指導等業務	環境課	一般区民	85.0	良好
広報スタンド運営	広報課	一般区民	97.7	優良
広報すぎなみ等の配達	広報課	一般区民	100.0	優良

※ 区の履行評価は、95点以上=「優良」、80~94点=「良好」、60~79点=「普通」となっており、60点に満たない場合は「やや不良」として、次回の契約締結に際し支障をきたすこととなります。なお、点数の算出方法については、各業務別の評価項目ごとに、良好=4、概ね良好=3、やや不備=2、不備=0として積算した数値を、項目数×4で除した数値が標準評価点となり、加点・減点される別の評価項目の加減により総合評価点が算出されます。従って標準評価で100点の場合、加点評価が加わると100点を超える評価を得ることもあります。

(5) 相談事業

コロナの影響により、前年度に引き続き営業時間内は、本部または分室において、常時相談を受けられる体制を整えました。

① 就業相談

就業上のトラブルや未就業会員の就業紹介等、会員からの相談には迅速かつ適切に対応しました。

② 未就業者就業相談会

入会后一年以内の未就業会員を対象に、入会時に希望した職種以外での就業の機会を提供するため、需要があり就業する会員が少ない職種等の説明会を行い、新規就業につなげることができました。

日時	会場	説明職種	参加者	就業者
令和4年10月20日 午後1時～4時	産業商工会館	自転車有料駐車場管理、通学案内交通指導、 マンション共用部清掃、家事援助サービス ほか	16名	10名

② 合同相談会

NPO法人（竹箒の会）との合同で高齢者向け就業紹介を目的とした相談会をゆうゆう高円寺南館で開催し、5名の区民を入会説明会の参加申込につなげました。また、区役所1階ロビーにおいてセンターのPRパネルを展示しました。

(6) 研修・講習事業

東京都シルバー人材センター連合事務局の東京しごと財団（以下「連合」という。）が主催する会員の技能支援講習会については、コロナの影響による延期等はありませんでしたが適宜開催され、新たな技能習得を志す会員の参加を支援しました。

また、役員や事務局職員向けの研修・講習等については、受講形態や参加人数を制限しながら開催し、職員の研鑽を図りました。

実施主体	研修・講習会名	開催月日	受講者数
連 合	ハウスクリーニングⅡ 第1回	5/19・20	6
	ステップアップ接遇Ⅰ（施設管理・利用者対応）	5/25	2
	植木の基礎（除草と刈込み）	5/12-27（9日間）	6
	毛筆筆耕（宛名書き）	6/2-13（7日間）	2
	パソコンインストラクター養成	7/12-15（4日間）	2
	包丁研ぎ 第1回	7/27	1
	ステップアップ接遇Ⅰ（クレーム対応） 第1回	8/29	1
	ハウスクリーニングⅠ	9/2	2
	植木の基本と応用（剪定）多摩	9/5-10/4（18日間）	1
	ハウスクリーニングⅢ 第1回	9/8・9	2
	植木の剪定技術アップ講習	10/5	2
	刈込機作業従事者安全衛生教育講習 第2回	10/7	1
	ハウスクリーニングⅡ 第2回	10/18・19	2
	植木の基本と応用（剪定）和敬塾	10/13-11/8（16日間）	1
	ステップアップ接遇Ⅱ（家庭の仕事等・発注者対応）	12/15	1
	パソコン出張サービス	1/24-26（3日間）	5
	ハウスクリーニングⅢ 第2回	2/9・10	1
	福祉・家事援助サービスコーディネーター	2/14・15	1
	子育て支援総合サービス	2/17-21（3日間）	3
	ステップアップ接遇Ⅰ（クレーム対応） 第2回	2/28	1
第3ブロック	理事研修（65歳からの疾病予防と健康対策）	1/27	13
	実務担当者連絡会（各区の情報交換・課題共有）	2/6・16・3/14	4
	職員研修（シルバー保険対応力向上のために）	2/28	5
当センター	就業前研修（接遇、個人情報の取扱いほか）	新規就業前必須	1,772

(7) 普及啓発事業

① 機関広報紙「シルバーすぎなみ」の発行

全会員に対しセンター事業の運営状況等をお知らせする「シルバーすぎなみ」は、年3回（4・10・1月）

発行し、事務局から直接会員宅へ郵送しました。より会員に親しんでもらうため、タイトルロゴデザインを会員から募り、内容と共に刷新を図りました。

② 「みにNews」と「就業のひろば」の発行

会員に迅速かつ的確に周知する手段として、毎月10日頃に「みにNews」と「就業のひろば」を発行し、事務局から会員へ郵送しました。

③ ホームページの更新

入会申込者向けに東京都の連合が制作したPVを掲載し、入会申込手続きに必要な会員情報を記載する入会申込用紙を掲載するなど、新規入会申込者向けに分かりやすくセンターの仕組みを伝えられるように内容の充実を図りました。

④ 杉並区の広報紙の活用

リサイクル自転車の販売に関する情報、各種教室・講座の開催に関する情報等、広報すぎなみに記事の掲載を依頼し、センター事業の周知を図りました。

⑤ 入会促進リーフレットの町会回覧板の利用

新規入会者の獲得のため、未入会者向けリーフレットの内容を刷新し、10月～11月にかけて町会回覧板を活用してPRを図りました。

⑥ 入会説明会の開催

昨年度に引き続き、コロナ感染症対策を講じての会場設定により、月2・3日で1日午前午後の2回を基本として実施しました。上半期に比べ、下半期は入会申込が大幅に減少したため、今後の入会促進強化の取組が必要となっています。

表 10－入会説明会実施状況 (単位：人)

項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開催回	5	4	4	6	3	4	5	4	4	2	4	6	51
参加申込者	56	40	39	64	34	47	40	22	37	20	42	56	497
説明会参加	48	35	31	54	29	38	34	18	28	16	37	49	417
入会申込者	44	31	26	47	22	36	32	12	23	14	35	38	360
入会率 (%)	91.7	88.6	83.9	87.0	75.9	94.7	94.1	66.7	82.1	87.5	94.6	77.6	86.3

(8) 社会参加等支援事業

コロナによりほとんどの地域活動が休止する中、大きく変化した地域社会の生活環境に則した新たな地域活動を展開し活性化を図るため、地域班の再編と「地域班長」を「地区委員」に名称を変更して新たな役割を果たしてもらうように、定時総会終了後に同会場で全体地区委員会を開き、新た選任された地区委員の委嘱式と今後地域活動の方針を周知しました。

① シルバー孫の手事業

当事業は、全国的にも注目されているボランティア事業であるため、高齢者在宅サービスのおたっしや訪問利用家庭にPRチラシを配布するなど、事業の周知・拡充に努めましたが、コロナにより事業の認知度が著しく低下したことや、無料であっても見ず知らずの会員を自宅に招き入れることへの抵抗感など、減少傾向に歯止めをかけることができませんでした。今後は対象となる高齢者が気軽に利用できる仕組みづくりに向けて研究し、センター事業の目玉として区民の認知度を高められるように取り組んでいきます。

なお、登録会員の活動意欲の向上を図るため、昨年度に引き続き、活動5回毎に記念品(Quoカード)を贈呈しました。

年度/項目	受付件数	不調件数	実施件数	活動人員
令和4年度	54	6	48	47
令和3年度	70	18	51	49

② 落ち葉感謝祭の参加

昨年度に引き続き、地域活動委員会が主体となり、12月3日に開催された「落ち葉感謝祭2022」に参加し、区内7カ所の大型公園それぞれの地区に住む会員と家族とが落ち葉破棄を行いました。今年度は、各地区とも10名以上の参加があり、地域住民に対する活動をアピールすることができました。

項目/年度	令和4年度	令和3年度	備考
参加公園数	7公園	7公園	柏の宮から塚山へ変更
参加者数	104名	110名	対前年比 6名減

(内訳)

井草の森公園 14名 / 蚕糸の森公園 16名 / 桃井原っぱ広場 13名 / 塚山公園 14名
馬橋公園 14名 / 大田黒公園 16名 / 児童交通公園 17名

③ その他の地域活動

新たに再編した地区地域班において、同じ地区の会員同士や一般区民との交流機会として、各地区の地域特性を生かした地区イベントを企画・実施し、シルバー人材センターの活動を広くPRすることができました。

また、地域の企業や東京都からの出展・事業企画の依頼を受け、会員の持つ技能を活かした企画により、イベントに参加した区民に対し、シルバー人材センターの活動をPRすることができました。

地区名	実施日	内容	参加人数 (非会員)
高円寺	12/9・16	高円寺見聞録ツアー	13(2)・18(6)
和田堀	3/24	和田堀の原点を訪ねる	24(5)
阿佐谷	10/18	天保新堀用水路から荻窪三庭園を歩く	35(5)
和泉下高	3/15	地元再発見大人の遠足	28(4)
井荻	10/28	講演会～心をひらくコミュニケーション～	31(11)
高井戸	11/24・30	杉並清掃工場見学	14(2)・13(1)
荻窪	計画中	屋敷林ってなあに？	令和4年度未実施

イベント名・会場	日時・会場	内容	参加者
区民センターまつり 高井戸地域区民センター	令和4年10月1日(土) 令和4年10月2日(日)	①包丁研ぎ ②手づくり作品の販売	68本/30,000円 126点/54,200円
地域感謝の集い 堀ノ内斎場	令和5年2月26日(日) 10:00～13:00	手づくり作品の販売	37点/24,300円 地域住民 314名
東京みんなでサロン 高井戸西一丁目アパート 第二集会室	令和5年3月17日(金) 10:00～15:00	高齢者の引きこもり対策事業 ・竹とんぼ制作・飛ばし大会 ・生楽器演奏とカフェ ・出張系の手サービス	地域住民 58名

(9) 安全就業推進事業

① 安全就業の強化

安全適正就業指導員1名を通年で雇用し、毎月職種ごとに就業履行状況の点検を実施するとともに、安全管理委員による就業現場の安全点検確認を行いました。いずれの就業現場も概ね安全就業に取り組まれていましたが、安全就業必携ハンドブックとともに会員証の不携行が散見されました。再度、ハンドブックの必読と安全心得の励行を注意喚起し、安全就業の強化に努めました。

職 種	安全適正就業 指導員巡回回数	安全管理委員現場点検	
		実施箇所数	点検者数
植木剪定	187 回	3 所	6 名
自転車有料駐車場	101 回	1 所	2 名
通学案内交通指導	33 回	—	—
除草	17 回	1 所	2 名
マンション共用部清掃	42 回	3 所	6 名
学校施設管理	—	1 所	2 名

② 事故分析及び周知等による再発防止の徹底

昨年度同様に傷害事故の多くは転倒によるケガで、コロナ禍の生活様式の変化により、外出を控えることが多かったことで日常的な運動量が減少したことによる体力の衰えが原因と考えられ、改めて就業前の準備運動の励行など、再発防止に向けた注意喚起を行うとともに、「みに News」で全会員に事故内容、原因等を周知し再発防止に努めました。

また、今年は事前の確認を怠ることによる作業前の準備不足が原因で起こった賠償事故が大幅に増加しており、作業が慣れてきた頃の会員に多く見られました。賠償事故は、センターの仕事の受注に係る信用失墜につながるため、早急の対応が必要となっています。

年度／事故区分	傷 害 (保険適用)			賠 償	
	就業中	就業途上	計	保険適用	保険適用外
令和4年度	8	14	22	13	2
令和3年度	5	11	16	12	1
前年度比	3 増	3 増	6 増	1 増	1 増

※ 賠償責任が発生する事故について、保険適用される場合は、免責金額1,000円を負担しますが、会員の過失割合により保険適用がされない場合は、当事者との示談の上で請求される示談金について、会員とセンター事務局とで負担割合を決め被害者へ支払います。

③ 安全就業啓発のための研修・講習会等の開催

会員が就業中や就業途上においてケガをする要因の多くは、体力の低下による転倒が多いことは4M分析からも判明しているため、会員を対象として、体力の低下を防ぐための体芯力講習及び命に係わる事故等に遭遇した場合の救命措置を身に付けるためのAED操作講習を行いました。また、連合や第3ブロックが開催する安全就業に関する会議や講習会等に安全管理委員が参加し、就業連絡会等で会員への伝播に努めました。

講習会名等	開催日	対 象	参加人数
体芯力・AED操作講習会	1/16・30	一般会員	18・24名
安全パトロール巡回指導	7/5	安全管理委員	2名
安全リーダー研修	7/6		1名
新任安全管理委員勉強会	7/8		1名

転倒予防勉強会（第1・2・3回）	8/24・2/22・3/22		各1名
第3ブロック安全研修	9/29		3名
自転車安全利用者講習会	11/8		1名

(10) センター運営

① 総会

令和3年度の事業報告及び収支決算の承認を受けるための第12回定時総会を、コロナ感染症対策として少人数の出席で行えるよう議決権行使書や委任状による参加を呼びかけ、杉並公会堂で開催しました。

開催日現在の登録会員数である総議決権数2,532名に対し、当日出席者97名、委任状1,199名、議決権行使書286名の計1,582名の出席があり、定足数に達した中、決算の承認及び役員を選任について異議無く承認されました。

② 理事会

ア) 業務執行状況の確認、事業の円滑な運営に必要な諸事項の決定を行うため、コロナ感染症対策を講じながら本部7階702会議室を基本として定例理事会を毎月行いました。また、12月度は、新たに内部を改修した清水分室の多目的室を利用して開催し、理事会閉会後には、昼食をとりながら一年間の振り返りを行い、新たな年への決意と理事会の結束を強めました。

イ) 事業運営に係る諸事項の検討等について、設置した委員会を担当する理事を割り当て、課題の解決に当たりました。

ウ) 会員の就業の対価として支払う配分金に含まれる消費税について、令和5年度から施行されるインボイス制度のしくみを理解する機会を設け、制度施行によるセンター事業運営への影響等に対する課題解決に取り組みました。

③ 監事

決算監査の他、中間監査及び清水分室と現金を取り扱う有料自転車駐車場（6カ所）、ゆうゆう館、リサイクル自転車作業所の業務監査を実施しました。

④ 地区委員

区内を7地区に分け、地区に所属する地域班を町名別に設置し、地域班長に代わる新たな地域活動の推進者として、当該地区地域班の登録会員約30名につき1名の地区委員を委嘱しました。コロナで休止していた集会形式の地域活動の取組が徐々に展開され、各地区オリジナルのイベント等が活発に行われました。

⑤ 事務局

ア) 理事会の下、会員の安全適正就業や地域貢献活動を支援するとともに、連合事務局の東京しごと財団や他区のセンターと連携し情報交換をしながら、円滑かつ効率的なセンター運営に努めました。

イ) 会員や利用する区民に分かりやすく、効率的な事業運営を推進する事務局組織とするため、昨年度末に荻窪・清水の2カ所に設置された分室を清水1カ所に統合し、分室機能の向上を図りました。

これに伴い、本部と分室の役割や業務分担を明確にするとともに、効果的な事業運営に取り組めるよう職員配置を行いました。しかし、受託事業においては、提供するサービスが区民のニーズ合致しきれていない現状があるため、これまでの運営方法や形態等を分析し、より区民ニーズに的確に応えられる組織運営にすることが求められています。

ウ) 事務局職員の事務処理能力の向上を図るために、昨年度から引き続き担当する職務や新たに担当する職務に関わらず、前例踏襲はせずにゼロベースでの取組を進め、職員一人一人が担当する職務のレベルアップに努めました。しかし、新たな事務分担に相応する適正な職員配置ができず、職員の勤務時間に偏りが生じているため、さらなる分析を行い、働きやすくモチベーションが向上する事務局組織となるよう努めていきます。

2 諸会議の内容

(1) 総 会（定款第 14 条に基づき開催）

会議の名称・日時・会場	議 案 等
第 12 回定時総会 令和 4 年 6 月 28 日（火） 午後 1 時 30 分開会 杉並公会堂	報 告 令和 3 年度事業報告 議案 1 令和 3 年度決算書類の承認の件 議案 2 理事 1 名選任の件

(2) 理 事 会（定款第 31 条に基づき設置し、第 32 条の職務を執行）

会議の名称・日時・会場	議 題
4 月度定例（第 147 回） 令和 4 年 4 月 26 日（火） 午前 10 時 本部事務局 702 会議室	1. 4 月分入会申込者の入会承認について 2. 特別会員の入会承認について 3. 第 12 回定時総会の開催について (1) 開催日程等について (2) 目的事項について（報告事項・決議事項） (3) 議決権行使及び招集方法について 4. 退任地域班長の表彰について 5. インボイス制度施行における対応方針について 6. 諸報告 (1) 令和 4 年 3 月期事業実績等について (2) 現金及び貯蔵品の監査結果について (3) 就業打合せ会 (4) 英会話教室、襖・障子張替
5 月度定例（第 148 回） 令和 4 年 5 月 26 日（木） 午前 10 時 本部事務局 702 会議室	1. 職務執行報告 2. 5 月度入会申込者の入会承認について 3. 令和 3 年度予算執行状況報告について 4. 会計監査報告について 5. 第 12 回定時総会の開催について (1) 議案の決定について (2) 復代理人の選任について (3) 総会の運営進行・役割分担について (4) 会員表彰について 6. 安全管理委員の委嘱について 7. 地域班長の委嘱について 8. 退任地域班長の表彰について 9. インボイス制度施行における対応方針について 10. 諸報告 (1) 令和 4 年 4 月期事業実績等について (2) 委員会 1) 広報委員会 2) 安全管理委員会

<p>6 月度定例 (第 149 回)</p> <p>令和 4 年 6 月 21 日 (火)</p> <p>午前 10 時</p> <p>本部事務局 702 会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 6 月度入会申込者の入会承認について 2. 役員賠償責任保険の加入について (協議事項) 3. 地域活動委員の委嘱について 4. 地域班長の委嘱について 5. 諸報告等 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和 4 年 5 月期事業実績等 (2) インボイス制度施行に伴う対応について (3) 第 12 回定時総会の運営について
<p>7 月度定例 (第 150 回)</p> <p>令和 4 年 7 月 26 日 (火)</p> <p>午前 10 時</p> <p>本部事務局 702 会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 7 月分入会申込者の入会承認について 2. 分室統合に伴う分室運営に関する規程の制定について 3. 諸報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和 4 年 6 月期事業実績等について (2) 全体地区委員会について (3) 就業委員会について (4) 安全就業パトロール巡回指導 (5) すぎなみフェスタ出展について
<p>8 月度定例 (第 151 回)</p> <p>令和 4 年 8 月 23 日 (火)</p> <p>午前 10 時</p> <p>本部事務局 702 会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 8 月分入会申込者の入会承認について 2. 名誉会長の選任について 3. 事業用スマートフォンの使用に関する要綱の制定について 4. 諸報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和 4 年 7 月期事業実績等について (2) 地域活動委員会
<p>9 月度定例 (第 152 回)</p> <p>令和 4 年 9 月 27 日 (火)</p> <p>午前 10 時</p> <p>本部事務局 702 会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 9 月分入会申込者の入会承認について 2. 規程等の改廃について 3. 諸報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和 4 年 8 月期事業実績等について (2) 安全管理委員会 (3) 職員の退職に伴う採用選考について (4) 地区委員会議の報告について (5) LINE 公式アカウントの開設について
<p>10 月度定例 (第 153 回)</p> <p>令和 4 年 10 月 25 日 (火)</p> <p>午前 10 時</p> <p>本部事務局 702 会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 10 月分入会申込者の入会承認について 2. 安全管理委員の委嘱について 3. 落ち葉感謝祭 2022 への参加について 4. 諸報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和 4 年 9 月期事業実績等について (2) 退会者名簿及び住所変更一覧の廃止について (3) 業務監査の実施結果について (4) 広報委員会 (5) 地区委員会議の報告について (6) 阿佐谷地区ひざこぞうトーク (7) 就業相談会
<p>11 月度定例 (第 154 回)</p> <p>令和 4 年 11 月 22 日 (火)</p> <p>午前 10 時</p> <p>本部事務局 702 会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 11 月分入会申込者の入会承認について 2. 職務執行報告 3. 正会員の会費の減額及び免除に係る規定の変更について 4. 諸報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和 4 年 10 月期事業実績等 (2) 中間監査及び業務監査報告 (3) 委員会 (地域活動・安全管理) (4) 就業連絡会 (学校施設管理・マンション清掃) (5) 地区委員会活動報告

<p>12 月度定例 (第 155 回)</p> <p>令和 4 年 12 月 21 日 (火)</p> <p>午前 10 時</p> <p>清水分室 多目的室 1</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 12 月度入会申込者の入会承認について 2. 職員旧規定等の改正について 3. 月次事業実績報告等 (令和 4 年 11 月分) 4. 業務監査報告 5. 常任委員会活動報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 安全管理委員会 (2) 地域活動委員会 (3) 落ち葉感謝祭実施報告 6. その他地区活動報告等 <ol style="list-style-type: none"> (1) 役員の就業について (2) 就業会員連絡会 (囲碁講座) (3) 地区活動報告 7. 事務連絡 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第 3 ブロック役員研修
<p>1 月度定例 (第 156 回)</p> <p>令和 5 年 1 月 24 日 (火)</p> <p>午前 10 時</p> <p>本部事務局 702 会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1 月度入会申込者の入会承認について 2. 月次事業実績報告等 (令和 4 年 12 月分) 3. 常任委員会活動報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 広報委員会 4. 就業連絡会報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 環境美化巡回指導業務 (2) リサイクル自転車制作販売事業 (3) 来庁者自転車駐車場整理・倉庫鍵等貸出業務 (4) 広報等配達業務 5. 地区活動報告等 6. その他連絡事項
<p>2 月度定例 (第 157 回)</p> <p>令和 5 年 2 月 21 日 (火)</p> <p>午前 10 時</p> <p>本部事務局 702 会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2 月度入会申込者の入会承認について 2. 月次事業実績報告等 (令和 5 年 1 月分) 3. 配分金事務費等の考え方 4. 事務費規程の一部改正について 5. 令和 5 年度分の役員報酬について 6. 令和 5 年度事業計画書 (素案) 7. 令和 5 年度収支予算書 (素案) 8. 令和 5 年度事業計画及び収支予算の周知 (開示) 方法について 9. 理事会等会議開催日程について 10. 就業不適格な会員への対応について 11. 常任委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 就業委員会 (2) 安全管理委員会 (3) 地域活動委員会 12. 就業連絡会報告 植木剪定、作品販売、家事援助サービス、しろがね工房 13. 地区地域活動報告 14. その他
<p>3 月度定例 (第 158 回)</p> <p>令和 5 年 3 月 22 日 (水)</p> <p>午前 10 時</p> <p>本部事務局 702 会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 3 月度入会申込者の入会承認について 2. 月次事業実績報告等 (令和 5 年 2 月分) 3. 令和 4 年度収支予算の補正 (案) について 4. 令和 5 年度事業計画書 (案) について 5. 令和 5 年度当初収支予算 (案) について 6. 令和 5 年度資金調達及び設備投資の見込みについて 7. 令和 5 年度安全推進計画について 8. 障害者雇用支援事業団役員への推薦について 9. 役員賠償責任保険の加入手続きについて 10. 区役所口ビーパネル展における相談コーナーの設置について

	11. 就業連絡会 通学案内交通指導連絡員会議、区立自転車駐車管理業務リーダー会議、パソコン教室 12. 地区地域活動報告 13. その他
--	--

(3) 常任委員会（理事会の下に設置し、各委員会運営規則に基づく任務を遂行）

委員会名	開催月日	検討項目等
就業委員会	6/14 1/26	ア) 就業相談会の開催 イ) 就業連絡会の開催 ウ) 配分金・事務費の設定 エ) 不適合就業会員の対応
安全管理委員会	5/20 9/16 11/18 2/3	ア) 就業現場点検 イ) 就業連絡会における安全啓発 ウ) 安全就業推進計画 エ) 安全標語
地域活動委員会	8/4 10/31 11/18 2/15	ア) 委員の委嘱、活動予定 イ) 高齢会員の健康確認 ウ) 落ち葉感謝祭 エ) 年度活動の振り返りと次年度の活動計画
広報委員会	5/11 10/5 1/11	ア) シルバーすぎなみの編集・発行 イ) 本年度活動計画 ウ) 次年度活動計画

(4) 地区委員会

区内を7地区（高円寺・和田堀・和泉下高・阿佐谷・荻窪・井荻・高井戸）に分け、各地区に在住する会員約30名につき1名の地区委員を選任し活動

地区名 (地区委員数)	開催月日・会場	検討項目等
全体地区 (83/88名)	6/28 杉並公会堂	ア) 地区委員の委嘱 イ) 令和4年度活動方針及び事業計画 ウ) 地区委員の役割 エ) モデル的地区活動
高円寺 (6/7名)	8/3 9/2 11/18	ア) 令和4年度地区イベントの検討 イ) 地区イベントの振り返り
和田堀 (7/9名)	7/22 11/8 2/14	ア) 令和4年度地区イベントの検討 イ) 地区イベントの振り返り

和泉下高 (13/14名)	7/12 9/1 11/21 11/26	ア) 令和4年度地区イベントの検討 イ) 地区イベント会場下見
阿佐谷 (13/14名)	8/2 1/18	ア) 令和4年度地区イベントの検討 イ) 地区イベントの振り返り
荻窪 (12/12名)	8/17 10/24 2/13	ア) 令和4年度地区イベントの検討 イ) 地区イベント会場下見
井荻 (18/18名)	8/5 12/8 3/8	ア) 令和4年度地区イベントの検討 イ) 地区イベント会場下見
高井戸 (10/14名)	7/29 8/26 11/4 3/3	ア) 令和4年度地区イベントの検討 イ) 地区イベント会場下見

(5) その他の会議等

会議の名称	開催月日	会 場
東京しごと財団会長会議	7/4 2/20	東京しごと財団
第3ブロック事務局長会議	毎月1回	新宿・板橋・豊島・練馬・中野・杉並区の6区持ち回り
第3ブロック代表理事会議	11/11	練馬区ココネリホール

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

公益社団法人
杉並区シルバー人材センター
会長 本山徳裕